

○編輯者より

○本年も亦不満足勝ちな十二冊の雜誌を讀者諸君の前に送つて、茲に本誌第十三卷を了るることになりました。同情多き寄稿家諸氏の玉稿によつて時々誌上に花を咲かせることはありましたが、もと、全體に於て讀者諸君にどれ程の利益を供し得たかは、甚だ心細い次第であります。しかも讀者諸君のゆたかなる好意によつて今日に至つたことを深謝せなければなりません。

○來年に於ける本誌も敢て大業なる吹聴と豫告とを今からすることは出来ません、しかし、學齡前教育の眞面目なる研究者として本年よりも多少の發達を加へ度いと思ひます。

○本年中續いて掲載しました附録、菅原學士的美學講話は、本誌としては或は標準の高い程度のものであつたかも知れないのですが、それだけ多くの方に確實な利益を供し得たことと信じます。

尙、同講話は豫告目次の全部を完結に至りませんが、しかも、幼稚園教育に直接關係の近い部分は終りましたし、本誌で一先づ完結とします。結論としては、來年一月號に菅原學士が執筆して下さる筈ですし、又全部を校訂して『藝術講話』の名稱のもとに一冊の書物として不日出版せらるゝ由でありますから、それに就て、一層御精讀をおすゝめ致します。

○來年よりは、附録として、『フレーベル自叙傳』を掲載したいと

思つて居ます。フレーベルの傳は、よく知れて居るやうで、詳細は案外知れて居ません。一番權威ある自叙傳によつて、改めてフレーベルを知ることが實に利益の深いことと信ずるのであります。

○本誌は學齡前教育の通俗的専門雜誌として、適當なる多少の計畫を有して居ります。しかも本誌は今日以上ページ數を増加し、又は種々の發展を加へることの出来難い事情に居ります。而して之れを少しでも好事情ならしむる方法は、讀者の増加に他なりません。勿論、本誌は世上の娛樂的雜誌の如く、多く賣らんことを欲するものでは決してありません。眞面目なる少數の讀者を實とするのであります。眞面目なる多數を得れば此上のごときはありません。會員諸君に於て此の點の御配慮盡力を乞ひ度いのであります。現會員一人の方が一人の新讀者を紹介して下さるとするも、その結果は大なるものであります。

○尙ほ本誌は益々有益ならしむる一つの法は、讀者諸君がその豊富なる實驗上の資料、教育上の意見感想等をお寄せ下さることです。我國現今の状態では、幼稚園の問題に經驗と確固たる知識とを以て言論し得る人は、本誌讀者諸君以外多くは無いのであります。編輯者は此意味に於て、諸君に常に期待して居ります。どうぞ斯界のために、此の方面のお力添へを乞ひ度くあります。

○終りに臨み會員讀者諸君の上によりき新年の來らんことを祈ります。